

平成29年シーズンのスキー客入込状況について

【要旨】

平成29年シーズン（平成28年12月～平成29年5月）における、県内のスキー場（21か所）の入込数を取りまとめましたので、その概要をお知らせします。

- 1 入込数 805,711人回（平成28年：761,952人回）
- 2 比較 対28年比 43,759人回、5.7%の増加
- 3 今シーズンの特徴
 - (1) 今シーズンは、降雪は早かったものの、その後の降雪量が増えず全面滑走が遅れたスキー場もあり、シーズン前半の入込は低調でしたが、シーズン中盤から後半にかけての積雪により営業日数を増加させたスキー場が多く、前年を上回る入込となりました。
 - (2) 全体としては、雪不足の影響を大きく受けた昨シーズンを上回る入込となりましたが、H26シーズン以来の通期100万人回以上には至りませんでした。
 - (3) 海外からの誘客についても継続して積極的に取り組んでおり、外国人客を受け入れている県内の主なスキー場の宿泊施設から聞き取りしたところ、台湾や中国を中心とするアジア諸国の入込が伸びているとのことでした。
- 4 今後の取組

いわてウインターリゾート協議会（事務局：株式会社岩手ホテル&リゾート）を中心に、関係市町村、東北観光推進機構等と連携を図りながら、引き続き県外や海外からの誘客に積極的に取り組みます。

〔参考〕過去8年間の推移（単位：人回）

